

生産性向上のための取り組み

R7.9月

業務改善活動

改善
CASE 2

利用者来所時におけるお茶出しを職員に代わり、利用者自ら行うことで介護職員のその他のケアに集中できた

通所介護	
文書量削減	☐
ICT	☐
カイゼン	☒
人材育成	☐
介護ロボット	☐

社会福祉法人博愛会 共生型サービス 暖家Withキッズ

成果

質の向上

介護職員が、利用者のためのケアに時間を割くことができるようになった

量的な効率化

介護職員がその他の業務に注力できるようになり、直接利用者に関わる時間が増え転倒などのリスクが減少した。

解決のステップ

職員の現状の業務を確認し来所時のお茶提供の際、見守り不足になるとの意見があった。

試験的に各テーブルにポットと湯呑をセットし自由に飲んでいただくようにしてみた。

この試みにより利用者間のコミュニケーションも増え、利用者にお茶を提供する時間を利用者のケアに努める時間が増えた。

課題の見える化

【 ☒ 課題抽出 ☒ 構造化 ☐ 調査 】

Before



After

